



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月28日

上場会社名 カルビー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2229 URL <https://www.calbee.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 伊藤 秀二
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼CFO (氏名) 菊地 耕一 (TEL) 03-5220-6222
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	201,203	4.7	21,841	△0.2	21,401	△1.7	14,048	△4.3
2020年3月期第3四半期	192,104	2.7	21,879	7.0	21,762	4.4	14,680	△2.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 14,555百万円(0.5%) 2020年3月期第3四半期 14,487百万円(△4.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	105.11	—
2020年3月期第3四半期	109.83	109.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	229,795	177,545	74.1
2020年3月期	214,967	169,632	75.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 170,384百万円 2020年3月期 163,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	265,000	3.5	26,500	△4.2	26,000	△5.1	16,200	△7.6	121.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー 社 (社名) ー 、 除外 ー 社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 : 無
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	133,929,800株	2020年3月期	133,929,800株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	289,176株	2020年3月期	254,501株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	133,656,967株	2020年3月期3Q	133,667,228株

(注) 期末自己株式数には、信託が保有する自社の株式を含めております (2021年3月期第3四半期288,265株、2020年3月期253,590株)。また、同信託が保有する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております (2021年3月期第3四半期271,921株、2020年3月期第3四半期259,405株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2 2021年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数133,640,624株により算定しております。
- 3 当社は、2021年1月28日(木)に機関投資家・アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。この説明会の音声については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は、201,203百万円(前年同期比4.7%増)と前年同期を上回りました。海外事業は、北米で2019年11月から連結範囲に加わったWarnock Food Products, Inc. (以下、Warnock社)が貢献したことに加え、中華圏におけるスナック菓子とシリアル食品の販売が拡大しました。国内事業においては、インバウンドおよび国内旅行者の減少により、土産用のスナック菓子の販売が減少しました。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保存性の高い食品としてシリアル食品の需要が増加しました。また、2020年4月の株式会社ポテトかいつか(以下、ポテトかいつか)の買収が貢献し、結果として国内売上高は増収となりました。

営業利益は、21,841百万円(前年同期比0.2%減)となり、営業利益率は10.9%(前年同期比0.5ポイント悪化)となりました。海外事業の増収効果等が増益に貢献したものの、国内は高付加価値の土産用商品の売上減少が利益にマイナスに影響したため、前年同期並みとなりました。経常利益は、為替差損392百万円を計上し、21,401百万円(前年同期比1.7%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、海外合弁会社の利益拡大に伴う非支配株主に帰属する四半期純利益の増加等により、14,048百万円(前年同期比4.3%減)となりました。

	2020年3月期 第3四半期		2021年3月期 第3四半期		伸び率 (%)	現地通貨 ベースの 伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
国内売上高	158,712	82.6	161,038	80.0	+1.5	+1.5
海外売上高	33,392	17.4	40,164	20.0	+20.3	+23.7
合計	192,104	100.0	201,203	100.0	+4.7	+5.3

事業別の売上高は以下のとおりです。

売上高	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
食品製造販売事業	190,662	200,008	+4.9
国内食品製造販売事業	157,270	159,843	+1.6
国内スナック菓子	137,598	132,028	△4.0
国内シリアル食品	18,614	21,621	+16.1
国内その他食品(甘しょ・馬鈴しょ)	1,056	6,193	+486.1
海外食品製造販売事業	33,392	40,164	+20.3
海外スナック菓子	28,309	34,635	+22.3
海外シリアル食品	5,082	5,529	+8.8
その他事業	1,441	1,195	△17.1
合計	192,104	201,203	+4.7

(国内食品製造販売事業)

・国内スナック菓子

国内スナック菓子の売上高は、前年同期比で減収となりました。

国内スナック菓子の製品別売上高は以下のとおりです。

売上高	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
ポテト系スナック	100,752	96,776	△3.9
ポテトチップス	63,666	65,385	+2.7
じゃがりこ	28,112	25,585	△9.0
Jagabee/じゃがポックル	8,973	5,804	△35.3
小麦系スナック	16,311	15,933	△2.3
かっぱえびせん	7,577	7,222	△4.7
サッポロポテト等	8,733	8,710	△0.3
コーン系・豆系スナック	13,142	13,242	+0.8
その他スナック	7,393	6,076	△17.8
国内スナック菓子 計	137,598	132,028	△4.0

* 前期まで「その他スナック」に含まれていた一部の豆系スナックを、当期から「コーン系・豆系スナック」に含め、前期の数値も組み替えて表記しています。

- ・ポテト系スナックの売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、前年同期に比べ減収となりました。
 - ーポテトチップスは、前年同期に比べ増収となりました。第1四半期においては急激な需要の高まりに対応できず、一部商品の供給調整および休売を実施しましたが、第2四半期以降は販売再開とともに消費者の巣ごもり需要を取り込み、「堅あげポテト」を中心に好調に推移しました。
 - ーじゃがりこは、外出先やオフィスでの需要減少に伴う販売低調が継続し、前年同期に比べ減収となりました。
 - ーJagabee/じゃがポックルは、前年同期に比べ大幅に減収となりました。土産用商品の「じゃがポックル」は、第3四半期においてGo Toトラベルキャンペーンの効果等によって一時的に回復に向かったものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い再び需要が下降しました。
- ・小麦系スナックの売上高は、「かっぱえびせん」等の商品の売上が減少し、前年同期に比べ減収となりました。
- ・コーン系・豆系スナックの売上高は、第1四半期において巣ごもり需要の影響を受け、「マイクポップコーン」等の一部コーン系スナックが伸長し、前年同期に比べ増収となりました。
- ・その他スナックの売上高は、その他の土産用商品等の売上減少により、前年同期に比べ減収となりました。

・国内シリアル食品

国内シリアル食品の売上高は、国内消費向け、中華圏の小売店舗向けともに伸長し、前年同期に比べ増収となりました。国内消費向けは、「フルグラ」定番品が、新型コロナウイルス感染症の影響による輸入原材料の調達遅延に伴って一時的に休売した影響により、前年同期並みとなりましたが、代替品として一定期間販売した「フルグラあっさりテイスト」が売上に貢献しました。また、健康や機能性を訴求した「フルグラ糖質オフ」、「グラノーラプラスプロテインin」等の需要が好調に推移しました。

・国内その他食品（甘しょ・馬鈴しょ）

国内その他食品（甘しょ・馬鈴しょ）の売上高は、当期首から甘しょ事業を営むポテトかいつかが連結範囲に加わったことにより、前年同期に比べ大幅に増収となりました。甘しょ事業においては、主に焼き芋に適した糖度の高い品種のさつまいもの卸売が伸長しています。

（海外食品製造販売事業）

海外食品製造販売事業の売上高は、海外スナック菓子、海外シリアル食品ともに売上が伸長し、前年同期比で増収となりました。

海外食品製造販売事業の地域別売上高は以下のとおりです。

売上高	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
北米	7,110	10,854	+52.7
中華圏	9,671	11,761	+21.6
英国	4,501	4,860	+8.0
インドネシア	3,393	2,977	△12.3
その他地域	8,715	9,711	+11.4
海外食品製造販売事業 計	33,392	40,164	+20.3

*1 中華圏：中国、香港

*2 その他地域：韓国、タイ、シンガポール、豪州

- ・北米の売上高は、主に2019年11月からWarnock社が連結範囲に加わったことにより、前年同期に比べ大幅に増収となりました。Warnock社の製造するプライベートブランド商品は好調に推移しました。既存事業においては、豆系スナック菓子「Harvest Snaps」の大手顧客でのプロモーション実施により、売上が伸長しました。また、エスニック食品売り場向けの「かつばえびせん」やポテトチップス等のスナック菓子の売上が伸長しました。
- ・中華圏の売上高は、前年同期に比べ増収となりました。ポテトチップス等の販売アイテムの拡大と、「じゃがポックル」の国内からの輸出強化等により、スナック菓子の売上が伸長しました。シリアル食品「フルグラ」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてEコマースの需要が高まっていること等から、売上が伸長しました。
- ・英国の売上高は、Seabrookブランドのポテトチップスのマルチパックの需要が増加したことに加え、新商品の発売により、前年同期に比べ増収となりました。
- ・インドネシアの売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大によるスナック菓子市場の低迷継続により、ポテトチップスの売上が減少し、前年同期に比べ減収となりました。
- ・その他地域の売上高は、主に豪州において、「Harvest Snaps」の販売地域の拡大と「Jagabee」の販売開始により、前年同期に比べ増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ14,827百万円増加し、229,795百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金、のれん、有形固定資産およびたな卸資産が増加したことによるものです。

現金及び預金が減少した主な要因は、ポテトかいつかの株式取得によるものであり、のれんは同社の買収により増加しました。受取手形及び売掛金の増加は、12月末日が銀行休業日だったことにより回収が翌月にずれ込んだことによるものです。有形固定資産の増加は、主に「ポテトデラックス」の製造ラインの取得等国内既存事業の拡充を目的としたものです。また、たな卸資産の増加は、国産馬鈴しょおよび甘しょが収穫期を迎え、原料仕入高が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ6,915百万円増加し、52,249百万円となりました。この主な要因は、ポテトかいつかが新たに連結範囲に加わったことに伴い、短期借入金および長期借入金が増加したことによるものです。一方、未払法人税等の減少は、法人税の確定申告納付および中間納付によるものです。

純資産は、主に利益剰余金が増加したことから、前連結会計年度末に比べ7,912百万円増加し、177,545百万円となりました。

この結果、自己資本比率は74.1%となり、前連結会計年度末に比べ1.8ポイント低下しました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ13,493百万円減少し、42,249百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ10,423百万円収入が減少し、3,388百万円の純収入となりました。この主な要因は、売上債権の回収額が銀行休業日による入金のずれにより増加した前年同期に比べ、減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出が減少したものの、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が生じたことや、有形固定資産の取得による支出の増加により前年同期と比べ10,636百万円支出が増加し、14,509百万円の純支出となりました。連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出はポテトかいつかの買収によるものであり、有価証券の取得による支出の減少は、主にその資金を充当したことによるものです。

有形固定資産の取得による支出の主な内訳は、「ポテトデラックス」および「カルビッツ フルグラ」の製造ライン新設等国内既存事業の拡充を目的としたものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いによる支出が増加したことにより、前年同期と比べ1,329百万円支出が増加し、2,512百万円の純支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年11月2日に発表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,909	19,522
受取手形及び売掛金	29,718	43,336
有価証券	30,653	32,999
たな卸資産	11,205	14,974
その他	5,219	7,471
貸倒引当金	△7	△10
流動資産合計	119,699	118,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,983	29,225
機械装置及び運搬具（純額）	29,604	29,985
土地	11,270	11,494
建設仮勘定	1,508	3,451
その他（純額）	1,351	1,703
有形固定資産合計	71,718	75,860
無形固定資産		
のれん	10,953	24,110
その他	2,080	1,842
無形固定資産合計	13,034	25,952
投資その他の資産		
投資その他の資産	10,516	9,690
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	10,515	9,689
固定資産合計	95,267	111,502
資産合計	214,967	229,795

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,889	9,603
短期借入金	871	7,573
1年内返済予定の長期借入金	—	298
未払法人税等	4,657	2,236
賞与引当金	4,581	3,333
役員賞与引当金	119	135
株式給付引当金	83	—
その他	16,431	15,873
流動負債合計	36,633	39,054
固定負債		
長期借入金	—	3,285
役員退職慰労引当金	330	382
役員株式給付引当金	172	242
退職給付に係る負債	6,908	7,054
資産除去債務	527	698
その他	763	1,532
固定負債合計	8,701	13,195
負債合計	45,334	52,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,046	12,046
資本剰余金	4,779	4,777
利益剰余金	148,565	155,917
自己株式	△933	△1,045
株主資本合計	164,457	171,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129	248
為替換算調整勘定	△833	△1,014
退職給付に係る調整累計額	△511	△546
その他の包括利益累計額合計	△1,215	△1,311
非支配株主持分	6,390	7,161
純資産合計	169,632	177,545
負債純資産合計	214,967	229,795

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	192,104	201,203
売上原価	105,420	111,815
売上総利益	86,683	89,388
販売費及び一般管理費	64,804	67,546
営業利益	21,879	21,841
営業外収益		
受取利息	86	70
受取配当金	40	40
持分法による投資利益	3	33
その他	330	188
営業外収益合計	460	332
営業外費用		
支払利息	69	73
持分法による投資損失	3	143
為替差損	280	392
減価償却費	91	105
その他	132	57
営業外費用合計	577	772
経常利益	21,762	21,401
特別利益		
固定資産売却益	8	13
投資有価証券売却益	1	42
関係会社清算益	—	174
助成金受入益	170	58
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	—	225
その他	3	—
特別利益合計	183	514
特別損失		
固定資産売却損	21	57
固定資産除却損	170	339
新型コロナウイルス感染症による損失	—	243
店舗閉鎖損失	136	15
その他	1	62
特別損失合計	329	718
税金等調整前四半期純利益	21,616	21,197
法人税、住民税及び事業税	5,994	5,133
法人税等調整額	834	1,533
法人税等合計	6,828	6,666
四半期純利益	14,787	14,530
非支配株主に帰属する四半期純利益	106	482
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,680	14,048

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	14,787	14,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	119
為替換算調整勘定	△314	△60
退職給付に係る調整額	△45	△34
その他の包括利益合計	△300	24
四半期包括利益	14,487	14,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,447	13,952
非支配株主に係る四半期包括利益	40	602

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	21,616	21,197
減価償却費	6,194	6,735
のれん償却額	506	1,306
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△64	△7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△667	△1,264
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	59	13
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	5	△4
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	67	69
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△163	4
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	12	△33
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	58	52
受取利息及び受取配当金	△126	△110
支払利息	69	73
為替差損益 (△は益)	144	689
関係会社清算損益 (△は益)	—	△174
助成金受入益	△170	△58
持分法による投資損益 (△は益)	0	110
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△42
固定資産売却損益 (△は益)	13	43
固定資産除却損	170	339
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,344	△12,868
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△530	△2,541
仕入債務の増減額 (△は減少)	563	△559
未払金の増減額 (△は減少)	△667	△913
その他	△1,635	△900
小計	23,107	11,155
利息及び配当金の受取額	123	114
利息の支払額	△70	△74
法人税等の支払額	△9,349	△7,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,812	3,388

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,062	△8,305
有形固定資産の売却による収入	101	17
無形固定資産の取得による支出	△471	△439
有価証券の取得による支出	△42,818	△23,998
有価証券の償還による収入	52,344	31,182
投資有価証券の取得による支出	△12	△12
投資有価証券の売却による収入	5	68
貸付けによる支出	△700	△930
貸付金の回収による収入	800	760
定期預金の預入による支出	△1,626	△774
定期預金の払戻による収入	1,749	1,124
差入保証金の差入による支出	△91	△80
差入保証金の回収による収入	44	31
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△7,305	△13,208
助成金の受取額	170	58
その他	△1	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,872	△14,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,038	4,508
長期借入金の返済による支出	—	△179
自己株式の取得による支出	△0	△191
ストックオプションの行使による収入	3	—
非支配株主からの払込みによる収入	323	139
配当金の支払額	△6,424	△6,692
非支配株主への配当金の支払額	△11	△12
リース債務の返済による支出	△112	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,183	△2,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,762	△13,493
現金及び現金同等物の期首残高	35,425	55,742
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,187	42,249

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。